

熊本県で開発した新技術

熊本県農業研究センター

2024

アリウム「丹頂」1月出荷作型の収穫率が安定する栽培技術

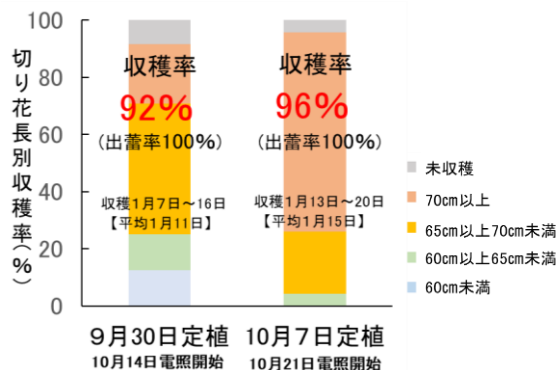


図1 切り花長別収穫率

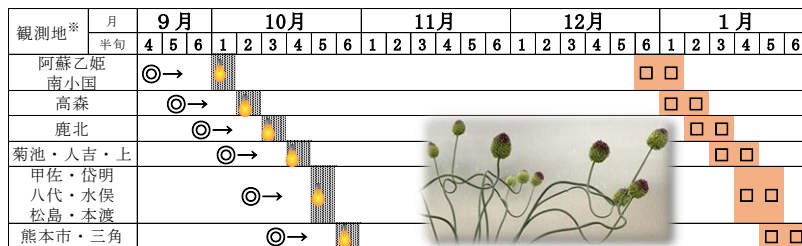


図2 県内地域別アリウム「丹頂」1月出荷作型表

問 研究のねらいは？

答 アリウム「丹頂」切り花の1月出荷を狙った作付けでは、年によって出蕾しない株が多く、収穫率が安定しないことが問題となっていました。そこで、1月に収穫率が安定する栽培技術の構築を目指しました。

問 優れている点は？

- 答
- ① 日平均気温が18℃を下回り始める時期から電照開始し、その2週間前に定植を行う栽培体系において、出蕾が安定し、1月の収穫率は9割以上と安定します(図1)。
 - ② 県内地域別の1月に安定的に収穫できる作型表を、気象庁県内地点別平年値(1991年~2020年)の日平均気温に当てはめて作成しました(図2)。

問 栽培または普及するうえで注意する点は？

- 答
- ① 試験は、11月7日にハウスビニルを被覆するとともに加温を5℃設定として行いました。
 - ② 本技術の活用の際は、栽培地域の気象条件を確認してください。

農産園芸研究所 花き研究室